

黄城高

CONTENTS	
特集ようこそ先輩!!	1
会長挨拶、母校の近況	5
合格だ！優勝だ！	6
各支部総会報告	8
卒業50周年を祝う	10
後輩からの一言	11
会員寄付金 寄付者一覧	12
トピックス、お知らせ	13
黄城会総会を終えて	14
役員一覧、物故者、寄付金・寄贈	15
事務局通信	16
発行▶平成28年7月1日	
発行所▶黄城会	
発行人▶岩松 要輔	
印刷▶俳音成印刷	

Ojo News Letter Vol.46

特集 ようこそ先輩!!

「縁」

江里口 秀次 氏
小城市長



今回の特集「ようこそ先輩!!」は、5月2日に小城高体育館で全校生徒の前で「縁」と題して講演した小城市長江里口秀次氏（高校23回）の声を採録した。

特集

黄城人(高校23回卒) 江里口 秀次 氏「縁」

こんにちは。第23回卒業の小城市長江里口秀次です。

私の家は、桜岡小学校の近くにあります。毎日、早朝と夜、2匹のワンちゃんを連れていつもこの高校の前を歩いています。ですのでよく皆さんと会ってあいさつをするときもあるかもしれませんが、2匹のワンちゃんを連れてくる人を見たら気軽に声をかけていただけたらなと思っております。

私の高校時代

自分たちの高校時代というのは昭和

43年から46年ですね。そのころの自分たちの高校時代はどうだったのかということを含めて話をしたいと思います。私の高校時代は、まず国外ではベトナム戦争が昭和40年から昭和50年の約10年間あっていました。もう一つは人類初の月面着陸ということで、実際に人が月の上を歩いた時代でもありました。ベトナム戦争は、ある意味ではアメリカとソ連の代理戦争と言われていました。あの当時は世界の中ではアメリカとソ連の2強がお互いに駆け引きをし

ながら、世界の力と均衡をしっかりと保っていた時代で、冷戦時代と言われています。しかし、結局ソ連が崩壊してロシアになり、アメリカが一強となりましたが、なかなか力を発揮しなくなって、この力の均衡が崩れたときに実際紛争が起こっている感じがするんですね。ですからベトナム戦争はある意味では、冷戦の力の均衡を保ちながらそこで代理戦争をやってきたわけです。

また国内では、平和を求めて学生たちが本当に一生懸命熱い思いで訴

えていました。あの当時は、学生たちがいろいろなことに興味を持って、そしていろいろと行動をしていた、そんな時代でした。実際東京などの都市圏では、激しい学生運動がっていました。それともう一つは、この日本の国を憂いた三島由紀夫が市ヶ谷の自衛隊の屯所を一時占拠して、そこで割腹自殺をして話題になりました。また、よど号のハイジャック事件というのもありました。これは日本で初めて飛行機が乗っ取られたハイジャック事件です。そういう時代でした。

高2まで全員坊主頭

高校に入って1年生・2年生のころは全員坊主頭だったんですね。校則が坊主だったから、全員坊主で入学をしてきたわけなんですけど。ちょうど2年生の終わりのころだったと思いますが、生徒会が「もう坊主はおかしかりょうもん」と。だからある程度、男も長髪—あのころは“ハイカラ”と言っていましたけれど—長髪に是非してほしいということを生徒会に言ってもらって、2年生の終わりくらいからそれを許可してもらって、やっと我々は坊主頭からハイカラに、長髪にした思い出があります。ちょうどそのころ大阪万博が昭和45年の3月から始まったもんですから、それを見に行きました。坊主頭で行くよりも、髪を伸ばして大阪まで行くとなると、大人になった感じがしました。そんな思い出もあります。

3年生のときが一番思い出が多かったですけど、例えば、体育祭のときの一番最後にするフォークダンス、今も体育祭のフォークダンスしよっとなかな？……やってるね。フォークダンスするときには、やっぱ



り思春期ですので好きな女の子とか気になる女の子がおるわけですよ。だからだんだんその子に近づいてくると、胸のドキドキ感というのが本当であって、ずっとその人と踊っていたいなという思いがありました。

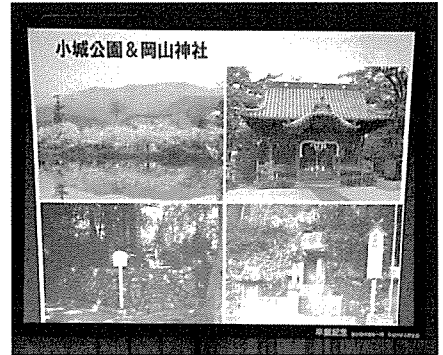
それと文化祭。文化祭のときはこれもいろいろなイベントが、各教室であってました。最後にこの体育館でいろんな出し物があるんですよ。我々はグループサウンズに夢中になっていた時代ですので、我々の同級生がステージでギターを弾いて歌を歌うとなると「ああなりたいな、すごいな、かっこいいな」と思っ。ものすごく憧れるんですね。ですから、そんなきっかけでギターを勉強した、そんな時代でもありました。外ではいろんな学生運動とか学生紛争とかあった時代ですけども、小城高の中では、ある意味では平和で、一生懸命に勉強をして、一生懸命に遊んで、そしてみんなが青春というのを、高校時代を謳歌してた、そういう時代だったと思っております。

それと、これ皆さん知っているかな。“フーテンの寅さん”といって、渥美清主演で、各県を回りながら作られた「男はつらいよ」という映画です。平成元年には、佐賀を舞台に「男はつらいよ ぼくの伯父さん」という題名で上映されました。そのときに実はこの小城もロケ地として出てきたんですね。映画の中に小城高校が結構出ているんですよ。このときのマドンナは後藤久美子さんで、後藤久美子さんと寅さんがしゃべってるのは小城高の校門の所なんです。ちょうどそのころ小城高の制服がこの映画で使われたデザインに変わりました。平成元年くらいの小城や小城高校がふんだんに出てきますので、もしまだ見なかったら、ぜひレンタルショップに行ってみてください。懐かしい小城高校が出てきますので、ぜひ見ていただけたらな、と思っております。

縁ということ

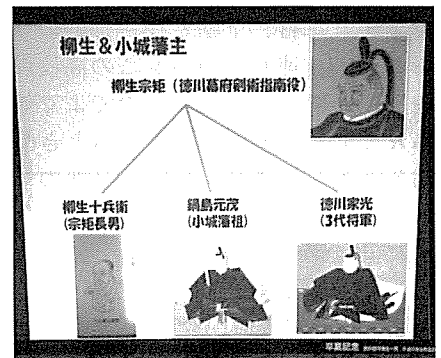
皆さんたち小城高校に来るとき

に、列車で来る人は小城駅から小城高校まで歩いてきてると思います。すぐそこに小城公園がありますね。小城公園の中に岡山神社というのが、小城公園の入り口のところにあります。今パワースポットということで非常に人気があるところですが、この岡山神社というのは小城の鍋島藩、佐賀も鍋島藩ですけど、こ



の小城もその流れで小城・鍋島藩とありますが、小城・鍋島藩の一番最初の殿様、元茂公という方がいらっしゃいます。そして2代目の直能公がいますけど、その一代と二代を祀っているこの神社なんですけど、その本堂のすぐ北側に武成社と玉成社という祠が2つあるんですね。これは江戸時代の徳川幕府の剣術指南役の柳生宗矩・十兵衛、この親子を祀ってる祠なんです。これが小城公園内の岡山神社の中にあるというのをちょっと知っておいてもらいたいです。これは一番最後にお話をしたいと思っておりますので、こういったものが小城公園の中にあるというのをぜひ覚えてもらいたいですね。

そしてその関係図ですけど、柳生宗矩という剣術指南役がいます。そしてその子どもが柳生十兵衛で、宗矩の長男です。剣を通じて小城には、柳生についてのいろんな古文書とか



が残ってるということも覚えとってもらいたいと思います。

そして私は小城高校を卒業して、当時の高校というのは就職する人もいたんですけど、ほとんど大学進学というのも当たり前みたいな感覚だったんです。だから我々高校時代に何をやりたい、あれをやりたい、これをやりたいというよりも、「高校卒業したらまず大学には行かんばいかんね」という感じでした。ですから、しっかり目的を持ってその大学に行った同級生もおれば、自分みたいにとりあえず大学にまず行こうよということでも大学に行き、卒業してから就職するとなる訳です。就職も大学を卒業すると大体会社の正社員として就職します。今みたいに“非正規”という言葉もなかったし、そういうふうな就職の形もまずあの当時はなかったと思います。そんな意味では我々の時代は本当によかったなと思っています。今は高校卒業しても大学卒業してもなかなか目標をしっかり持っていないと正社員になれず、非正規となってしまう、何か時代と共に就職のあり方が変わってしまったと思います。私の場合は祖父が商売をやっていたから、お前は大学卒業すると商売の跡を継がねばと言われ、長男だからということで2年間くらい大阪に修行に行き、帰ってきたら、今度は佐賀で商売を手伝ったりと、そんな時代だったんですね。仕事をしながら、20代・30代の若者たちが集まって佐賀の町をいろんな形で変えていこうよ、提案していこうよ、行動しようよ、という団体がありました。それが佐賀青年会議所という団体であります。当時約200名くらいのメンバーがいて、いろいろ活動をしていたんですね。私も仕事が終わってから、青年会議所に参加をして、いろいろ活動してましたが、そのときから自分の頭の中の何か少しずつ変わり始めてきたんですね。自分は今まで学校に行って、卒業して、仕事を一生懸命して、結婚して、家庭を持って、自然体でずっとそのままやってきましたが、町のことをみんなと活動をし

ながらいろんなことをやっていく中で、自分の頭の中が少し変わってきたような感じがします。

「町長になりたーい！」

青年会議所は40歳までしか活動できない団体ですけども、35歳のときに天山の頂上に登って、自分の思い、自分が一番これから何がやりたいのかということを中心に大きな声で発表するというイベントがあったんですね。私はそのとき天山の頂上に登って何と言ったと思いますか？「おれは、小城の町長になりたーい！」と大きな声で叫んだんですよ。でも自分はそのときはまだまだ家の商売をずっと続けて跡を継いで一生懸命にやっていた時代であったわけなんです。そのような中で35歳で思わず私はそういったことを叫びました。

そうやって、平成12年に小城町の町長選挙がありました。そのときまだ自分の子どもは一番上で19歳か20歳くらいで、下の子どもはまだ高校生だったんですね。そのときに、自分は小城の町長選挙に出たいんだということを自分の嫁さんや親に言いました。「町長選挙に出たかもね」という話をしたら、うちの嫁さんは、気がおかしくなったと思って、だったらもう別れてくださいと。両親も年とってるから、俺たちを殺す気かと言われて、それからまたしばらく悩んで考えました。それで実は、選挙は6月の中旬くらいにあるんですけど、とにかく5月の連休から自分なりに考えて最終的に思ったのは、ここでチャレンジをせんで一生いろいろ悔やむよりも、もうとにかく精一杯がんばってその結果駄目なときには自分が諦められるんだということで、再度5月の20日過ぎくらいに、親と嫁さん、子どもたちに自分の思いを全部話しました。そしてもう呆れてというか「仕方がないからお前が言うとおりに、したいようにせろ」と親は言って、それからこの選挙戦に出たいということを表示したんです。これは選挙の19日前だったんですね。当時、私は佐賀に勤めていて夜遅く小城に帰ってきて、また朝早く佐賀に行ってますから、江

里口秀次という名前そのものも全然知られていない人間だったんですけど、それから19日間、とにかくみんなに知ってもらうために、自分の思いを伝えるために回りました。そのときに一番応援してくれたのが、高校の同級生だったんです。みんなが「お前が決めて出るなら仕方なか」ということで応援をしてくれました。それと先ほど言った青年会議所のメンバーが応援してくれました。私が47歳のときですから、47歳のときが一つの私自身のターニングポイントとっておりますし、今までずっとその47年間、決まっていたルールをずっと歩んできた中で、自分自身がいろんな体験をしていろんな人との縁をいただいた中で、このターニングポイントという時期を迎えてそれにチャレンジできたというのは、やっぱり同級生や仲間たち、みんなの力・お陰じゃなかったかなと思っております。

小城市になって

平成17年に小城市が合併いたしました。牛津・芦刈・三日月・小城の4町が合併をしたわけですけど、それぞれの地区を全部回りました。全部回っていろいろな話を聞きながら、そして自分自身の考えも知ってもらいたいということで回ってきました。それともう一つは、小城市の周辺には多久市や佐賀市もありますね。そういったところとしっかり連携しながら、力を合わせて今後もしっかりやっていかなければならないと思っております。小城市のいいところはどんどん出して、また小城市に足りないのは多久市や佐賀市からのいろんな協力を受けながらやっていきたいと思っております。

小城市というのは約700年くらい前に、今の関東の千葉氏が、もともと千葉の所領であった小城に来て町づくりをされています。今の須賀神社に山がありますね。NTTの鉄塔が一番上に建っていますが、あそこがあの当時の山城です。ですからあの山は西日本の最大級の山城と言われて、その遺構も全て残っています。だからその当時、千葉氏がこの小城

に来て町を興し、今年700年という事でその当時から受け継がれてる祇園祭りというのが700年を迎えるわけです。小城は非常に歴史のある町なんですね。小城市というのは合併して有明海から天山まで本当に素晴らしい資源を持っていますので、そういったものをしっかりと守って伝えていくことが非常に大事だと思っております。

アナログも大切に

そしてもう一つは、この時代と共に変わらなくてはならないものもあるんですね。皆さんたちが今、小学校・中学校・高校もそうですが、ICT教育というのが主流になって、電子黒板やタブレットを使った勉強をされていますが、我々の当時は当然なかったわけなんです。今はそういったツールを使った勉強をするというのが主流になっていますし、それはそれとして非常に大事なことだと思います。でもそのようなデジタル的な勉強と、もう一つは、例えばあいさつをするにしてもしっかり顔を見ながらあいさつをするとか、話すときも相手の目を見てしっかり話すとかいった基本的なこと、これはアナログみたいな感じかもしれませんが、そういったものは非常に大事だと思います。

小城市の場合、職員採用をするときに、県の統一試験があって、小城市役所を受けたいという人が60人から70人くらいいるとすると、まず筆記試験をします。どこどこ大学とかどこどこ高校とか全く関係ないんですよ。だからそのうち筆記で上がった20人が二次試験を市の試験で実施しますが、その時に思ったのは、や

はり確かにいい大学行って勉強してる子もいますけども、コミュニケーション能力はどうかかな？という子もたまにいます。気持ちを大らかに持って、そしてあいさつができて、コミュニケーション能力があり、また相手のことを認めてしっかりと支え合ってくれる、そういうふうな人を私たちは求めているわけなんです。それが社会に入って、仕事をしていく中で一番大事じゃないかなと思っております。特に行政という仕事に携わると相手の身になって考えて、相手が頼ってきてますから、頼ってきているそのことに対してどれだけちゃんと対応できるのか、応えることができるのかということが一番考えるんじゃないかなと思っております。市役所というのは市民の役に立つところと書きます。そういう市民の役に立つ人にみんななってほしいなど。そのためには職員にもっともっと勉強して詳しくならんばいかなんですよ、という話も実はしているんですね。

縁に感謝

最後になりますけれども、先ほど岡山神社と、柳生宗矩と、それと小城の初代藩主の元茂公の話をしました。これが柳生家に伝わる家訓ということですが、これは「小人は、縁に会って縁に気づかず」「中人は、縁に気づいて縁を生かさず」「大人は、袖振り合う縁をも生かす」というのが柳生家の家訓としてあるそうなんです。これはどういうことかという、人生の中でなかなかうまくいかない人、失敗ばかりする人は縁に気付いていないのではないのでしょうか？いろいろな仲間とか家族と

ことで、縁には気付いてるんですよ。気付いてるんですけど、これを生かすことができない。生かしてない人は失敗もしないけれど、成功もしないということです。そして人生の中において、本当に成功する人はどんな小さな縁でも大切にしながらそれを“生かせる人”ということなんです。だから皆さんたちも今、家の中では家族の縁がありますし、学校では友達の縁がありますし、また学校から出たときもいろんな縁というのがあるかと思いますが、それをいかに大切にしながら生かしていくのかということ。これは人生の中においてずっとついていくことだと思います。私自身もまだまだ大人でもないし、ひょっとするとまだ小人もかもしれません。しかしながらこれを頭の中に描きながら、そしていつまでもそれを生かせる、生かしていきたいという思いだけはずっと持ちたいなと思っております。いろんな出会いがあり、出会いがあった人には必ず手紙を書いて「縁をいただいてありがとうございます」というような手紙を書くようにしていますけれども、それでもまだまだ十分じゃないんですね。ですから、ぜひ皆さん方もこれから進学をしたり就職をしたりすると思いますが、そういった中でいろんな周りの縁を大切にしながら、そしてまた縁に感謝をしながら頑張ってもらいたいと思っています。ぜひこの中から小城市役所を受けたいとか、俺は市長になるんだという熱い思いを持って頑張ってもらおう人がいっぱい出ることを祈念して、今日のお話とさせていただきます。



か、周りのいろんな縁があるけれども、それに気付いてないということですね。そして「中人」とは、失敗もしないけれど成功もしないという人。これは縁を生かさずという

Profile

江里口 秀次 (63歳)

小城高等学校 昭和46年卒業
(高校23回卒)

小城市長
小城市出身
西南学院大学卒業



黄城の故郷から

黄城会会長
岩松 要輔

平成28年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。母校に南接する小城公園は、初夏の候となり樟の若葉とツツジの花に彩られています。

常日頃、黄城会の活動にはご支援ご協力をいただき、感謝申し上げます。黄城会は、明治38年8月に「会員相互の連絡を図り親睦を厚くし兼て後進を奨励する」を目的として旧制小城中学校同窓会として発足し、百有余年にわたり活動が続けられてきました。昨年度は、総会のあと会報の発行及び会費のコンビニ納入新設と新規に寄付金募集を行い、一定の成果を得ました。黄城会、一般財団法人黄城教育会館、黄城育英奨学資金の活動に力を入れてい

きますので、本年度もよろしくお願いたします。ご招待を受けました各支部総会へは、坂本前小城高校長、嘉村前教頭とともに七田副会長、井手副会長と手分けして出席させていただき、各支部の活動の様子を見聞させてもらい、母校に対する熱い思いを知ることができました。

今年度の黄城会総会は、恒例の5月3日に母校の体育館において、「虹 想い出と未来を彩る黄城のかけはし」をスローガンに、樋渡明宏実行委員長を中心として新高43回卒業の皆様のご尽力で素晴らしい集会となりました。総会行事のあと第2部の黄城の集いでは、当日集合された110余名の高校18回卒業の皆さんの卒業50周年祝賀が行われましたが、感動的でご同慶にたえません。第3部のアトラクションでは、「小城高校吹奏楽・合唱部」、「織田祐輔歌謡

ショー」が行われ、楽しい時間となりました。恒例の饅頭会は会場が新設の「ゆめぷらっと小城」の2F大ホールで行われ、新高44回卒業の皆さんの接待で大変盛況でした。

さて、母校小城高等学校においては、昭和36年からながらく親しんで参りました4階建ての教室棟が、平成27年9月より3階建ての新校舎となり、素晴らしい教育環境が出来上がりました。小城高校の敷地は、藩政時代小城鍋島家の藩邸があった場所であり、南の小城公園はその庭園であり、教育施設にとってすばらしい環境にあります。新築の校舎での小城高校の益々の発展を期待しています。

最後になりましたが、黄城会の発展と同窓諸兄弟のご健康とご多幸を祈念申し上げます、会報のあいさつといたします。

(平成28年5月10日)



母校の近況

校長
藤井 伸幸

平成28年4月1日付けで本校に赴任しました校長の藤井伸幸です。

本校に赴任した際に、最初の職員会議で全職員に、教職員の意識・公務員の意識・人権の意識を持ち、全員協働体制で魅力ある学校づくりをしましょうと述べました。具体的には、本校の校訓である「創意Originality」「挑戦Challenge」「誠実Integrity」を教育方針とし、明るく活気に満ちた教育活動の推進、知・徳・体の調和のとれた健全な人材の育成、教職員と生徒の相互の敬愛と信頼関係の醸成を教育目標にすることを掲げました。

さて、今日の教育現場はICT利活用教育、大学入学希望者学力評価テストの導入など情報化の推進、学習指導や評価の改善、また説明責任・危機管理への対応も必要です。特に、佐賀県においては電子黒板や学習用パソコンを導入し、授業改善を試みているところです。私は、校長を拝命してから、金立特別支援学校では電子黒板、塩田工業高校ではパソコン・プロジェクターを使用した全校朝礼を実施してきたところです。本校でもこれを継続しており、その一端を御紹介します。

小城の発音と語源を探る

右上のA資料は早稲田大学が所蔵している寛政十一年版の『肥前風土記(8

世紀頃成立)』部分です。デジタル公開なので関係部分を拡大することができます。「小城郡」に「ヲキノ」とフリガ



A



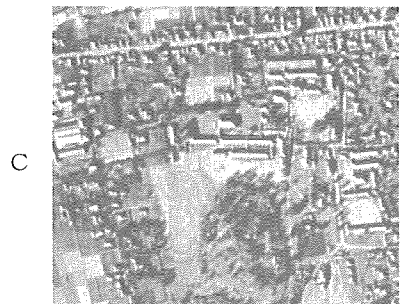
B

ナが見えます。上のB資料は本校が所蔵する明治43年版の『太宰管内志(19世紀中頃成立)』で、デジタルカメラで撮影し掲載しています。そこには「小城乎岐」と記されており、江戸時代には小城を「ヲキノ」と発音していたことが分かります。また、『太宰管内志』の著者伊藤常足によれば、『肥前風土記』の小城郡の条に出てくる「土蜘蛛造堡隠之」の「堡」について、「古くは乎岐と訓メリしなるべし(ママ)」と記し、小城の語源としています。

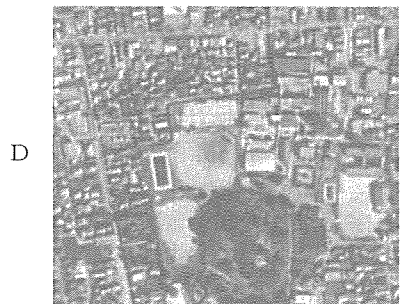
小城の航空写真を比較する

右のC・D写真は国土地理院がホームページの地図空中写真閲覧サービスで公開しているものです。Cは1948年

に米軍が撮影し、Dは2003年に国土地理院が撮影したものです。両者の撮影は55年間の開きがありますが、縮尺をパソコン上で補正することにより写真を重ね合わせ、そこから両者の違いを読み取ることができます。小城高校の東西にあり、国道203号から南に走る道路については路線変更が殆どなく、小城公園やその東側の矩形の池もそのままです。一方、Cに見える戦前の県立中学校や県立高等学校の建物はDの写真にはなく、中学校南棟の広場に現体育館、女学校の南棟跡に現黄城教育会館と図書館等が見えます。



C



D

合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】 広島大学1(2) / 山口大学3(1) / 愛媛大学(1) / 九州大学3 / 九州工業大学1(1) / 福岡教育大学4 / 佐賀大学16(4) / 長崎大学4 / 熊本大学2 / 大分大学4 / 宮崎大学1(1) / 鹿児島大学2(1)

【公立大学】 神戸市外国語大学2 / 下関市立大学3 / 北九州市立大学10 / 福岡県立大学2 / 福岡女子大学2 / 長崎県立大学4(1) / 大分県立看護大学1 / 宮崎公立大学4 / 名城大学1

【私立大学】 帝京大学3 / 国際医療福祉大学1 / 東海大学1(1) / 駒澤大学1 / 東京農業大学(1) / 創価大学1 / 日本大学(1) / 神奈川大学(1) / 同志社大学2 / 関西学院大学2 / 関西大学(1) / 京都橘大学1 / 近畿大学4 / 立命館大学1(3) / 安田女子大学4 / 広島修道大学1 / 九州産業大学20 / 久留米大学60 / 西南学院大学6(1) / 中村学園大学3(1) / 福岡大学62(6) / 福岡工業大学17(4) / 福岡女学院大学2 / 筑紫女学園大学12 / 九州看護福祉大学3 / 西九州大学16 / 長崎国際大学7 / 活水女子大学3 / 日赤九州看護大学3 / その他の大学50

【短期大学】 私立短期大学1

【その他】 文科省外大学1 / 高等看護学校24 / 医療系専門学校21 / その他専門学校14 / 就職5

部活動の成績

【体育部】

1. 柔道部

○第26回女子柔道体重別選手権大会 女子優勝 / 三富有紀・谷河司
○第53回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第3位 / 男子団体 第3位 / 女子 第2位 三富有紀・松本 由季・井手 智美 / 男子 第2位 鳥悠介・相良宗知
○第67回佐賀県高等学校新人柔道大会 / 男子 優勝 相良宗知 / 女子 優勝 大石野乃 / 女子 2位 井手智美 / 女子団体 第3位
○第19回九州高等学校新人柔道大会 / 男子 第2位 相良宗知
○第38回佐賀県高等学校選手権柔道大会 / 男子 第2位 鶴本健太・相良宗知 / 女子 優勝 大石野乃 / 女子 第2位 井手智美 / 女子団体 第2位 / 男子団体 第3位

2. ソフトテニス

○平成27年度佐城地区高等学校ソフトテニス春季大会 / 女子団体 第3位 / 男子団体 第3位 / 男子個人 第3位 香田啓利・永石達也
○平成27年度佐城地区高等学校ソフトテニス秋季大会 / 男子団体 第2位

○佐賀県高等学校新人競技大会 / 女子 第3位

3. バドミントン

○第27回佐賀県高等学校生徒バドミントン競技春季大会 / 第3位 平山楓・村岡彩香

○第53回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第2位 / 男子団体 第2位 / 女子ダブルス 第3位 平山楓・村岡彩香 / 男子ダブルス 第3位 船津丸悟・荒谷聖也 / 女子シングルス 第3位 村岡彩香 / 男子シングルス 第3位 荒谷聖也

○第40回佐賀県高等学校バドミントン競技学年別大会 / 第3位 村岡彩香

○第42回佐賀県高等学校バドミントン競技新人大会 / 女子ダブルス 第2位 平山楓・村岡彩香 / 女子団体 第2位 九州大会出場 / 女子シングルス 第3位 村岡彩香

4. 空手道

○第39回佐賀県空手道選手権大会 / 第3位 中野朋輝

○第2回日本空手協会佐賀県本部小中高生空手道選手権大会 / 高校男子形 優勝 中野朋輝 / 高校男子組手 準優勝 中野朋輝

○第12回九州地区団体戦空手道選手権大会 高校生男子 形の部 準優勝 中野朋輝 中野功輝

○第36回天神旗少年空手道大会 / 高校生男子 形の部 第3位 中野朋輝

5. バレーボール

○第27回佐賀県ビーチバレー大会 / 女子 第3位

6. 野球

○第20回唐津地区高等学校野球新人大会 / 優勝

7. 弓道

○平成27年度佐賀県高等学校弓道新人大会 / 男子個人 優勝 川原竜一郎

○平成27年度佐賀県弓道連盟会長杯 / 最優秀選手賞 長井悠斗

○平成27年度佐賀県高等学校弓道二年生大会 / 女子個人 第2位 野田真琴 / 女子団体 第2位 納富晴美・川浪香澄・野田真琴

○平成27年度第11回全国高校弓道通信錬成大会 / 男子団体 優勝 長井悠斗・松尾佳亮・大川司・坂井康佑・村岡佑都 / 女子団体 第3位 納富晴美・坂本綾香・轟木瑞穂・前田実優・川浪香澄

8. アーチェリー

○平成27年度佐賀県高等学校新人アーチェリー大会 / 新人女子1位 田中郁実

9. 陸上競技

○第70回佐賀県陸上競技選手権大会 / 男子 4 × 100mR (九州大会出場) 古川新悟・野中竣介・田中秀人・石橋聖我

○第53回佐賀県高等学校総合体育大会 / 男子 4 × 100mR (北九州地区予選会出場) 古川新悟・野中竣介・田中秀人・石橋聖我 / 男子100m 第6位 (北九州地区予選会出場) 野中竣介



柔道部

【文化部】

1. 書道部

- 梧竹・蒼海顕彰第23回佐賀県書道展 二科高校生漢字部門／優秀賞 熊手把瑠南・野田柚衣・古賀純奈・納富麻由美・廣川茜・福地里奈・早田明日香・小森早恵・廣瀬成望・江口未来
- 第21回九州高文連美術・工芸書道写真展宮崎大会書道部揮毫大会／優秀賞 手塚伊都
- 第40回書協展／書道教育連盟賞 小森早恵／特選 森愛梨・納富麻由美
- 第43回七夕書道展覧会／県教育長賞 陣内里菜／特選 熊手はるな・野中友莉香・森愛梨
- 第67回佐賀県高等学校席書大会／特選（創作の部） 陣内里菜・手塚伊都／特選（臨書の部） 藤瀬法子・早田明日香・森美月
- 第14回岐阜女子大学全国書道展／大賞（1席） 南里美有／準大賞（2席） 吉村愛友美／佐賀県教育委員会教育長賞 手塚伊都
- 第27回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門／特選 藤瀬法子／奨励賞／森美月・永松愛美・早田明日香・徳永留菜・福地里奈
- 第38回中林梧竹翁顕彰書道展／梧竹記念館賞（2席） 明石智佳
- 第10回尚綱大学高校生書道展／尚綱大学文化言語学部長賞 南里美有
- 第40回佐賀県高等学校臨書展／特選 陣内里菜・熊手はるな・手塚伊都・白濱郁／特選 明石智佳・藤瀬法子・早田明日香・新垣萌音／特選 永松愛美・森美月
- 第61回 書初誌上書道展／梧竹顕彰会賞（第3席） 明石智佳
- 第21回全日本高等学校書道コンクール／優秀校／部門最高賞（書譜賞） 藤瀬法子／部門最高賞（漢字仮名交じりの書創作賞） 藤瀬法子／準部門賞 明石智佳／準部門賞（準哀冊賞） 新垣萌音／準部門賞（準建中告身帖賞） 永松愛美／準部門賞（準張猛龍碑賞） 森美月／準部門賞（準古樹賦賞） 森美月／準部門賞 福地里奈・小森早恵／準部門賞（準木簡賞） 森愛梨・澤田百江／準部門賞（準広川王祖母太妃候造像記賞） 手塚伊都／準部門賞（準風信帖賞） 熊手はるな／準部門賞（準伊都内親王願文賞） 野中友莉香

2. 美術部

- 第68回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選 持永温子
- 第68回佐賀県高等学校スケッチ大会／奨励賞 野村明日香 平尾優貴
- 第27回佐賀県高等学校総合文化祭

美術・工芸部門／絵画部門 準特選

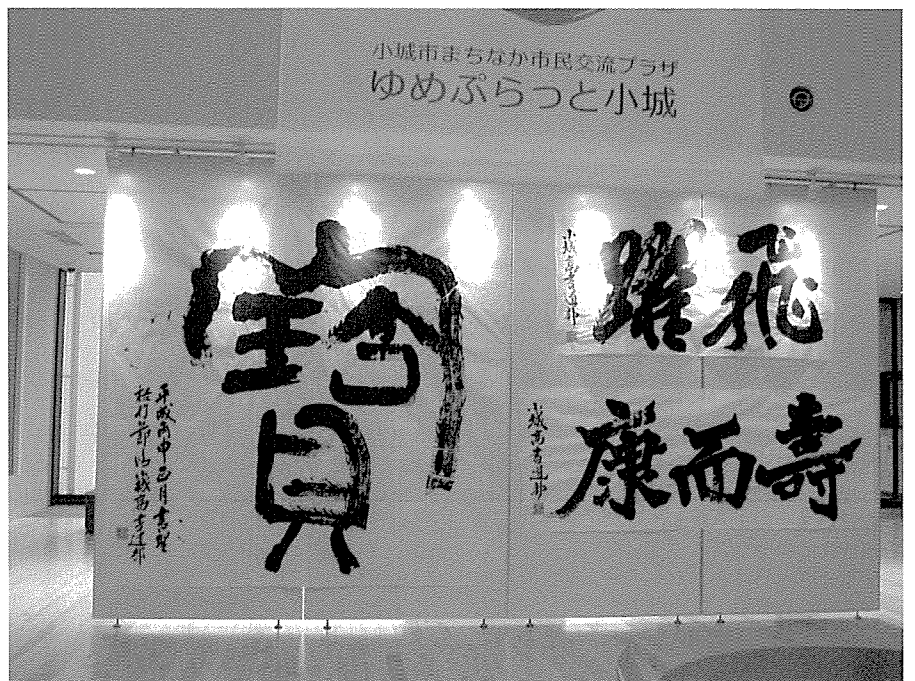
- 持永温子・久我愛実
- 第54回佐賀県高等学校デッサンコンクール 静物の部／特選 久我愛実
- 第54回佐賀県高等学校デッサンコンクール 静物の部／準特選 持永温子
- 第54回佐賀県高等学校デッサンコンクール 石膏の部／奨励賞 平尾優貴

3. 放送部

- 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀大会 朗読部門／奨励賞 田尻美羅乃・古賀あすか
- 第39回佐賀県高校放送コンテスト・第27回佐賀県高等学校総合文化祭放送部門 アナウンス部門／奨励賞 大家千佳
- 第39回佐賀県高校放送コンテスト・第27回佐賀県高等学校総合文化祭放送部門 朗読部門／優秀賞 古賀あすか



書道部



書道部

支部総会報告

平成27年度

関東支部

11月1日 京王プラザホテル 75名

本部から坂本校長、井手副会長、久本中京支部長が参加され盛大に開催されました。

第1部の総会は32回卒の川副事務局長の司会で始まり、議事は滞りなく議決され、役員改選は山崎支部長より指名で榎崎幹事長が新支部長に就任することになりました。他の役員は次回の常任幹事会で決定することになりました。

続く来賓挨拶の中で坂本校長、井手副会長から小城高や黄城会の現況等説明がありました。全体の生徒数は減ったが進学の実績は上がっているとのことでした。しかし県内と近隣県へ進学が多く、関東、関西、中京への進学は少なくなっているようです。久本中京支部長は支部活動に参加する若い方が少なくなっていることに憂慮されていました。

第2部の「黄城の集い」は、14回卒榎崎幹事長の司会で始まり、昨年に続き最長老で旧中40回卒石盛要さんの乾杯で始まりました。

余興は佐賀県に関するクイズで頭を悩ませましたが、日頃の郷土愛か？少ない予算のなか小城市観光課の協力で用意した景品を差し上げました。

本年の総会担当42回卒の実行委員がお礼の報告、来年の総会担当43回卒の実行委員が28年5月3日の総会への参加を要請されました。

校歌斉唱の後、石田副支部長から来年も又元気で再会できることを祈念して解散し2次会会場へ。

(関東支部支部長 高校14回 榎崎 進)



関西支部

11月1日 ホテル近鉄ユニバーサルシティ 57名

42期生の当番幹事のもと57名の出席者を迎え賑やかに開催されました。

本部からは外尾美好事務局長、学校から嘉村直樹教頭及び中京支部より川島公子副支部長に来賓としてご出席頂きました。

関西支部では、42期生の当番幹事を含めた実行委員会組織で総会準備を進め、総会当日は佐賀の当番幹事・次年度幹事の皆様にご協力頂き支部総会を開催しました。

関東支部と日程が重なった為、関東支部の皆様及び当番幹事・次年度幹事の皆様には大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

ユニバーサル・スタジオジャパンは予想通りの大混雑で開催時間等心配されましたが、

皆様方の準備と段取りが手際良く、スムーズなお迎えでご案内及び進行ができました。

総会第1部では外尾事務局長に他支部の状況及び5月3日の饅頭会の会場変更及び会費納入改善点などを教えて頂き、嘉村教頭より学校新校舎及び後輩たちの進学・クラブ活動含め活躍している状況などをお話し頂き、川島副支部長には小牧市で話題となった図書館の事でご尽力されたお話など、支部会員に大変興味あるお話をして頂きました。また小城高野口教諭(佐賀副実行委員長)の母校に対する熱き想いを聞き「ウルッ」ときました。

第2部は、川島中京副支部長の乾杯の音頭のと、関西在住42期生当番幹事の今泉さん、神木川さんが司会を務め、佐賀野口副実行委員長他8名の方々がバックアップし、盛大に盛り上げてくれました。

佐賀当番幹事の川原達也さんによるトークライブショーは先輩方々を思い遣る？優しい佐賀弁での語り掛けと、皆での大合唱に盛り上がりました。クイズ・ゲームではアツと驚く出題にビックリポンでした。100円総取りジャンケンゲームは佐賀43期生の古川さんが勝ち残りましたが、全額を寄付頂きました。全員が終始和やかな親睦会となりました。

閉会後のお別れは40・41・42・43期生の皆さんが出席者全員を「来年も元気で総会で顔を合わせましょう」と声をかけて見送りしてくれました。

関西支部役員改選で支部長・副支部長の2名が交代となりましたが、今後も支部活動が会員の皆様並びに黄城会全支部との交流にも役立つようにしていきたいと思っています。

(関西支部事務局長 高校31回 古賀 和良)



中京支部

11月7日 名鉄ニューグランドホテル 55名
黄城会中京支部設立20周年となる今回、例年に増して多数の方にご参加頂き、支部長久本をはじめ、役員一同心より感謝申し上げます。

総会では岩松会長をはじめ、ご臨席を賜りました方々にご挨拶を頂戴致しました。その中でも20年前、中京支部設立にあたり発起人としてお骨折り頂きました、服巻様・平山様・中尾様・中野様を代表し、平山様に当時から今日までの道のりのお話を頂戴し、20年の歴史を振り返らせて頂きました。そのお話の中でも触れられていたのですが、さすが20年ともなると運営・ご参加頂いた方を問わず、年数を重ねるたびに当初よりも年齢をとったものだと皆さん笑顔でお話されていました。

余興では、42回卒の川原くんのとても上手

な歌の披露に加え、ゲストの斎藤由華さんたちのギター&歌で大いに盛り上がりました。

また、会場には昨年に引き続き趣味のご披露で中里さんのオリジナルステンドグラス、力武さんの可愛い木製雑貨などの展示があり、参加頂いた皆さんが手に取り、素敵なお土産に感動されていました。

次回の21回以降の中京支部総会でもご参加頂ける皆様楽しんで頂けるような内容に出来るよう取り組んで参りますので次回のご参加、心よりお待ちしております。

(中京支部事務局長 高校40回 堤 淳)



関門・北九州支部

11月15日 リーガロイヤルホテル小倉 18名

本部より岩松会長、本村学校代表幹事を始めとして平成27年度、28年度当番幹事にお越し頂き、総勢18名(内支部員12名)にて開催されました。支部員は平成26年度に比べ3名増となりましたが支部員の御高齢化に加え若手の参加が少なく「活性化」と言う大きな課題を抱えながらの支部総会でありました。こじんまりした中ではありましたが逆に多くの皆様とゆっくりお話する時間が持て、和気あいあいと和やかな会でした。参加者一人一人の近況報告、ジャンケン大会、原田先輩(20回卒)御指導の下で健康・リハビリ体操を全員で実演しました。また新たな試みで生徒さんによる校歌演奏&歌声(CD)をウェルカム曲として会場へお迎え致しました。また懇親会前には再度じっくりと拝聴させて頂きました。ひとときではありましたが当時の学生時代に思いを馳せて頂いたのではないかと思います。限られた時間ではありましたが5月3日の総会、次回支部総会での再会を約束し合い、散会となりました。

事務局として準備をさせて頂きましたが、参加者の笑顔、「また元気で会おうね!」と挨拶し合う姿に伝統ある関門・北九州支部を少しでも、より活性化させていきたいとの強い思いを改めて持ちました。

(関門・北九州支部事務局 高校29回 山口 孝美)



福岡支部

10月10日 天神スカイホール 116名
残暑和らぎ、秋の気配を感じるようになった、10月10日、福岡支部総会・同窓会が開催されました。

総会においては、岡本支部長の挨拶の後、来賓の本部七田副会長、顧問嘉村教頭より祝辞を頂戴し、続いて議事・支部近況が古賀幹事長より報告されました。今年度はこれに加え、高校1回卒吉田英介執筆による「福岡支部の歴史」が壇上及び冊子紙面で紹介され、長く尊い軌跡に会場全体が思いを馳せております。

同窓会は、小城まさひろ氏の司会による歌謡ショー、世代の垣根を越えた交歓に沸き、終盤の校歌合唱に会場は大きく盛り上がりました。

参加者の多くが1年後の再会を約束し、会場を後にしています。

(高校42回 井手 崇雄)



唐津支部

2月7日 虹の松原ホテル 48名
昨年より11名多い48名の方の出席のもと開催しました。

本部より岩松会長、外尾事務局長、母校より嘉村教頭、佐賀支部、多久支部、福岡支部の役員の方に来賓としてお越しいただきました。

総会では、白石支部長の支部活動の報告と今回で第5号となる支部会報を配布しました。次に来賓の皆様からは、黄城会の本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。また、総会実行委員の方には昨年参加のお礼と、今年の総会の紹介と案内をしてもらいました。

懇親会では、唐津地区在住や勤務の参加者から近況を話していただき、アトラクションとして当支部の江口さんによるフラダンスで途中から有志も踊りに加わって盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

(唐津支部事務局長 高校28回 鮎川 正博)



佐賀支部

10月25日 マリトピア 190名
総会には、本部より岩松会長、外尾事務局長、母校より坂本校長ほか多数のご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催されました。

私たち高校43期は、担当回期という事で初めて参加させて頂きました。佐賀支部総会に出席された先輩方の人数の多さに驚かされ、中には東京から来られた先輩方もおられ、皆さんが楽しみにされていると思いました。1部では岩松会長、坂本校長から黄城会、小城高校の現況説明等がありました。小城高校の校舎も新しく改築されているという話もありました。また、2部の懇親会では、北原香菜子女史による薩摩琵琶の演奏に始まり、恒例であるチャリティ・ジャンケンゲーム、お楽しみ抽選会もあり楽しい時間を過ごさせて頂きました。私たち43期は先輩方と後輩の皆さんとの「かけはし」となれる様に、そしてまた黄城会の発展に貢献できる様に頑張っていきます。

(高校43回 樋渡 明宏)



多久支部

2月14日 北多久公民館 80名
昨年同様、あいにくの雨模様。出席者への影響も心配される中での開催となりましたが、吉浦支部長をはじめとする多久支部会員、本部の岩松会長、佐賀支部、唐津支部からのご来賓のご臨席を賜りました。

当番回期は本総会と同じく、42期。年度最後の支部総会ということもあり、多数の同期の協力、また、次回当番の43期からも多数の出席により、総勢約80人の盛大な会合となりました。ご出席いただきました皆様へ感謝申し上げます。

堤多久支部実行委員長のもと、第1部の総会行事を滞りなく終え、第2部の懇親会に。限られた時間ではありましたが、回期を越えた交流と親睦を深め、アトラクションでは42期の川原竜也君による「トーク&ミュージック」で盛り上がりました。

(高校42回 末吉 浩昭)



県庁支部

10月9日 グランデはがくれ 58名
総会には、黄城会本部の岩松会長 (高校10

回)、母校小城高校の坂本校長、佐賀県議会の藤木議員 (高校38回)、藤崎議員 (高校41回) ほか、多くのご来賓の皆様にもご参加を賜りました。

県庁支部は、佐賀県の様々な部門に勤務する職員で構成していますが、様々な分野があり、職場も県内全域に広がるため、普段、同窓会の職員同士が顔を合わせて話をする機会には、それほど多くありません。平成27年1月に新しい知事が誕生し、新たな県政がスタートしましたが、懇親会では、そうした佐賀県政に関する話から懐かしい昔話まで、大いに盛り上がり、最後は全員で校歌を熱唱しました。

県庁支部の会員一同、これからも、佐賀県の一層の発展に貢献できるよう、しっかりと頑張っています。

また、黄城会の皆様には、県政の様々な場面でお世話になることがあると思いますので、今後ともよろしく申し上げます。

(県庁支部 支部長 高校31回 南里 隆)



長崎支部

12月6日 諫早観光ホテル八千代 25名
12年間の空白を埋める「再発足のための」と銘打った支部総会でした。諫早市在住の黄城会々員が母体となり、長崎県内全域の217名に案内状を出しましたが、出席者は黄城会本部から出席の皆さんを除けば16名の出席というやはり厳しい船出となりました。

発起人代表の古川正人さん (8回生)、岩松要輔黄城会々長、坂本武敏小城高校々長の挨拶のあとの懇親会は、最高齢の式島賢一さん (2回生) の乾杯の音頭で始まり、4つの円卓での楽しい会食とともに、旧長崎支部の副支部長大場勝彦さん (11回生) の挨拶、各人の自己紹介、42回・43回の実行委員の林田典子、樋渡明宏ご両人の挨拶と続けました。

宴もたけなわになったころ、笑いも納得などの声を交えて頭の体操と連想式福引きを楽しみ、さらに次会までの暫定的な役員選出を行い、規約は特に決めませんでした。最後に全員の記念写真を撮り、諸永豊次さん (5回生) の万歳三唱の音頭で会は終わりました。

少人数ゆえに家庭的な和気満々の雰囲気には終始しましたが、長崎県の地理的条件のなか出席者をどう増やすかなど今後取り組む課題も多く見つかった会でした。

(長崎支部事務局長 高校10回 大石 太)





高校18回
末永 敏和

<卒業後の黄城会との関わり>

私は小城高校を昭和41年（1966年）3月に卒業後、関西の大学に進学しその後の就職先も香川、岡山、大阪、京都と郷里の佐賀から遠く離れて転々としていたため、黄城会との関わりは殆どなく、最近まで部外者的立場に終始してきました。卒業後25年の平成3年（1991年）に18回生に実行委員会の役が回ってきた黄城会総会もただ出席しただけであり、地元で18回生の同窓会活動を支えてきた開業医の野田和良君らに頼りきりでした。

このような負い目を感じながらも、最初の就職先（国立大学）を定年で辞めた直後に、卒業45年の卒業生に回って来る黄城会総会前日の在校生向け講演をお引受けして（会報41号）、少しは恩返ししたかなという気分になっていましたが、単なる自己満足に過ぎませんでした。

<黄城会活動の大変さ>

黄城会活動の大変さを実感したのは、去年の黄城会総会とその後の18回生同窓会へ出席した時でした。これは今年度の黄城会総会での登壇に備えて18回生代表の野田君らの呼びかけに応じたものでしたが、総会での17回生の登壇者数が史上最高の137名であったことに驚くとともに、18回生の参加者数が60名に満たなかったことから、今年度の登壇者が100名いくかどうか危ぶまれました。

特に、野田会長を中心とする事務局長（武富興一郎君）及び事務局員（岡本弘道君、水田健二君、東島基一君、松田〔堤〕真理子さん）、会計（北浦英子さん、長崎信子さん）からなる実行委員会は危機感を感じたようで、出身中学校ごとに世話人を決めて実行委員会を拡充し、登壇者数の拡大に懸命になったようです。2016年度総会が近づくにつれ、参加予定者の数が広がり、実際に同窓会や総会が盛り上がったのは、ひとえに会長やそれを支える地元の18回生の尽力の賜物であり、心底から敬服申し上げます。

<卒業50周年記念同窓会>

今年の5月2日に佐賀近郊の川上温泉龍登園で18時から開始された記念同窓会には全国各地から77名もの出席者があり、非常に盛会でした。

まずは、物故者への追悼のため1分間の黙とうが行われました。物故者名簿によりまずと、今年4月25日現在で男子45名、女子26名、合計71名の18回生が鬼籍に入っており、高校卒業時に1クラス55名、10クラスで550名はいたと思われる戦後ベビーブーム真っ盛りの18回生の2割弱の同年代がこの世にいないことにショックを受けるとともに、この会に出席できない彼（彼女）らの無念さに思いを馳せました。

次に、武富興一郎君及び岡本弘道君の司会で会が進められました。まず、校歌斉唱が松田〔堤〕真理子さんの伴奏で行われ、会長の歓迎挨拶があり、事務局や世話人、各地からの参加者の紹介、参加者代表（池田嵩君）の挨拶、居合演武（武富興一郎君）、乾杯（石垣〔北島〕正信君）、祝舞（犬尾〔真子〕澄枝さん、上瀧〔田中〕文代さん）、（毛貫〔内藤〕茂君）のオカリナ演奏の後、宴会が始まりました。会食とともに始まったテーブルごとでの旧交を温める歓談は、テーブルを超えて広がっていきました。

昔に思いを馳せた後に、高校在学当時流行った舟木一夫の「学園広場」を、続いて熊本・大分大震災によって被災された方のことを胸に東日本大震災3.11を契機に作られ最近もよく歌われている「花は咲く」と故郷を思い出させてくれる「ふるさと」を全員で合唱しました。なお、このたびの震災で小城では最大震度5強を記録しましたが、幸いにも特別な被害はなかったようです。

最後に、千葉で弁護士をしている中丸素明君の音頭で万歳三唱をした後、水田健二君の閉会の言葉で一次会は終了となりました。なるべく、遠方から参加した人に喋ってもらおうという事務局の進行方針はこの後も貫かれ、皆さん好感を持ったようです。

<黄城会総会当日>

龍登園に宿泊した18回生は、8時20分にバスで出発し、9時前に総会会場の小城高校体育館に到着しました。総会は9時半に始まり、18回生は在校生のプラスバンドの演奏で旧中、高女、新高の校旗入場を受け持ち、登壇し総会が始まりました。その後、総会の中の「黄城の集い」の中で、卒業50周年を迎えた私たち18回生全員の登壇となりました。

地元幹事の方々の奔走により、去年の137名には及ばなかったものの、実に118名もの多数が壇上に登ったことには胸が熱くなりました。当日参加者が46名もいたことも特筆に値します。繰り返しますが、地元幹事の方々の努力には頭が下がります。もちろん、総会を担当した43回生の方にも、そのご苦勞に感謝申し上げます。総会時に雨が強くなり体育館の屋根を叩く音が響いていた中で、総会が無事終了したことも彼（彼女）らのおかげです。

総会終了後は恒例の饅頭会ですが、卒業50周年の我々18回生には黄城教育会館2階での同窓会という特権が与えられています。饅頭会の世話は次期当番の44回生で、会場設営・準備・接待・後片付け等、気配り・心配りをいただきました。また、車椅子での参加者に対し、体育館から黄城教育会館への移動において在校生の野球部員3名の方々の助力がありました。深く感謝申し上げます。

司会を（樋口和吉君）が担当し、この同窓会も会長を中心に進行され、参加者代表挨拶（斎藤健司君）、乾杯（出島三郎〔藤尾季治〕君）、万歳三唱（東島基一君）、閉会の辞（村山龍彦君）と楽しい雰囲気の中に包まれ終了した2日間は忘れることのできないものになりました。

今後の黄城会総会のあり方等については、去年の梅谷先輩のご意見に賛同いたします。



私の高校生活

陣内 里菜（佐賀大学医学部看護学科）

私は小城高校での3年間、学業や部活動、仲間との日々を過ごす中で、本当に多くの経験をし、多くのことを学びました。苦しいことも楽しいこともありましたが、今ではどれも最高の思い出です。

部活動では初めて芸術書道を学び、中学までと違う斬新な作品に多く出会いました。その中で、物事には様々な表現の仕方があり、それを受け取る側も自由に感じる事ができるものだという事を実感しました。時には上手く表現できず悩んだこともありましたが、先生の御指導を受けて、自分なりに考えながら日々の練習に取り組んできました。その結果、個人としては最後の大会

で初めて挑戦した創作で特選、団体としては全日本高校書道コンクールで団体賞優秀校の2位に入賞することができました。

3年生からは本格的な受験勉強を始めました。最初は受験勉強と言っても何をして良いのかわからず、思いつくままに勉強していたので、なかなか成績が伸びず悩みました。しかし、先生の的確な御指導、また同じ目標に向かって進む仲間と共に考える中で、自分の勉強法を見つけ、最後まで全力でやりきる事ができたと思います。

この他にも、様々な経験をしましたが、このような充実した高校生活を送ることができたのは支えてくだ

さった皆さんの方々のおかげであり、本当に感謝しています。これからは小城高校で学んだことを生かし、今度は私が看護師として今まで支えてくださった方々に恩返しできるように、佐賀大学で頑張りたいと思います。



3年間で学んだこと

江口 智彦（佐賀大学理工学部機能物質化学科）

私は部活動と学業の両立を心掛け、充実した3年間を過ごすことができました。野球部の部員と共に練習に打ち込み、また級友達と共に進学を目指し勉強に励みましたが、上手くいくことよりも悔しい思いをすることの方が多かったと思います。しかし、この3年間の経験を通して自分自身大きく成長できたと思います。

部活動では、自分のためというよりも、「チームのために」という意識を持って練習や試合に臨みました。高校野球では試合の7割はバッテリーで決まると言われています。私は投手を務めていたので、常に責任を負う立場でしたが、それを「楽しみ」と考え練習に取り組みました。

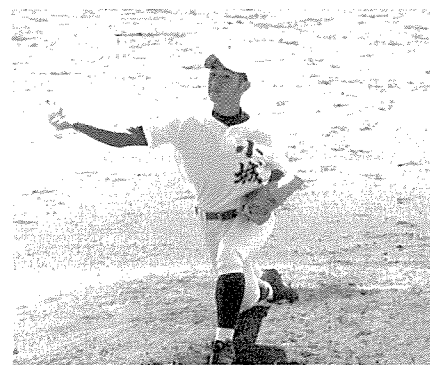
満足できる結果を残すことはできませんでしたが、指導していただいた先生方からは、技術面だけでなく精神面や礼儀など大切なことを教えていただきました。

学業面では、受験生としての自覚を持って勉強に取り組みました。受験勉強は大変だと聞いていましたが、私自身楽しみながら学習に取り組むことができたと思います。3年生として最後の1年間はクラス一丸となって受験に向かい、仲間の大切さを実感しました。

自分自身で立てた目標を全て達成できた訳ではありませんが、色々なことに挑戦することができて良かったと思っています。

私は佐賀大学理工学部機能物質化

学科に進学し、将来は化学の教師になりたいと思っています。私がここまで頑張れたのは、両親をはじめたくさんの先生方や仲間のおかげだと思います。将来は教育職を通して生徒の育成に携わり、社会に恩返しをしていきたいと思っています。



平成27年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っていますが、建築後28年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修(照明、内装、空調設備、電気工作物ほか)費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、364人の会員の皆さまから総額2,879,000円のご寄付をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

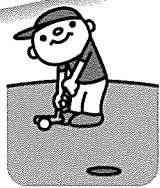
ご協力いただいた寄付金については、お願いした主旨にのっとり有効に活用させていただきます。ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

末筆になりましたが、熊本地震の被災者の皆さまには、衷心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧中41)	(高校3)	的野三千夫	貞松(荒谷)絹代	永山(北島)矢枝子	松瀬初男	佐々木(三島)忍
江里口良三	相原一郎	森(角田)宏明	中村(石田)幸子	小島(堤)昭子	村山龍彦	(高校24)
銭亀政明	内野正久	吉田暢明	片測(香月)恒子	秀島(土居)多悦子	川原(石田)潤子	西村(田中)由紀子
(旧中42)	古賀俊彦	吉丸尚真	城島賢子	中野(富永)登紀子	野田(木塚)ひとみ	宮崎(深川)佐代美
川副武男	城島文雄	吉村久夫	小林(副島)恭子	江口(光石)洋子	田中(諏訪)洋子	(高校25)
澁谷(香田)種一	千々岩昭美	牟田口(荒巻)節子	小園(古館)カヲル	淵田(村岡)美津代	山崎(鶴丸)クニ子	加茂賢治
中尾久徳	渡島宏	小池(池田)春美	岩石(右田)美納子	廣川(渡島)美智子	榎幸子	三根英樹
(旧中43)	堤(古賀)美好	唐島(片江)玲子	中島(山口)敦子	(高校13)	七田(真子)悦子	工藤(古場)節子
木原英俊	川浪(徳永)道子	稲葉(北原)初子	(高校10)	相原秀人	関川(宮崎)邦子	(高校26)
中島昭良	城田(野田)逸子	荻野(小林)惇子	池田正隆	鮎川正興	続木(横尾)文恵	川副春海
(旧中44)	池田(古川)美智子	北島(清水)文子	岩松要輔	中尾久司	(高校19)	石橋由美子
石井順二郎	西村(藤川)八重子	木下(武富)敏江	岸川英俊	南里浩平	神前幸敏	福田(鷲頭)智恵子
岸川博隆	鈴木(松田)千鶴子	平野(辻)叔子	榎木下岩謙	樋口秀夫	酒匂正夫	(高校27)
(旧中45)	永瀨(水田)元子	(高校7)	黒黒賀政利	秀島久夫	富永正樹	七田達彦
大坪明二郎	千葉(宮崎)直子	小野一哉	古志波保彦	宇高郁子	百武(水田)好光	生田(平安寺)暢子
武田(西村)勝巳	(高校4)	倉永(金ヶ江)圓宰	新郷道明	西田(高塚)恵美子	村上徹	加茂(真子)美和子
(旧中46)	石川洋夫	古賀満三	竹田雅典	古川(永野)悠紀	江頭(里)滝代	(高校28)
柴田隆雄	江頭駿治	佐々木昇信	堤中恒久	七田(吉田)勝子	川崎(土井)幸江	岡本秀実
鶴橋英仁	江里口勲弘	西田義實	七島竹治	(高校14)	寺町(林田)和子	今泉真由美
西宮清一	[故]北島清亨	古館博國	西村俊治	堤哲哉	山口(山下)ひろ子	山口(兼光)寿雅子
(高女21)	釘本晴夫	井手英子	野村口武彦	塚博秀	匿名小城市	(高校29)
円城寺政代	古賀渡吾	本村(江口)千津子	福藤谷頭三	榎岡正剛	川久保悟	尾形茂美
増田(陣内)清子	田中健吾	土谷(国信)利子	松枝修三	深森周蔵	木崎善行	高尾(江島)春美
緒方(松永)文江	田中丸榮稔	倉永照子	真子公敏	高木(佐々木)田鶴子	岸川宗一郎	井手(音成)真喜子
(高女23)	[故]増田祐保	石川(源五郎)九光	牟田口博司	一村(腹巻)喜久子	北島和道	田中慎一郎
吉田菊江	久保(相川)洋子	小柳(田中)延子	溝口(青柳)泰子	福島(真子)治枝	楠田貞博	兼子(友田)千春
(高女24)	小柳(石井)孝枝	稲童丸清人	緒方(太駄)慶子	(高校15)	島松延吉	谷口(野口)文子
徳田(相原)康乃	吉武(石橋)シズエ	大野雅央	小野(大松)三代子	七田義孝	中井義美	安永正
[故]森(宮島)末子	高屋(江里口)ハマ子	三宮宏明	石山(北川)洋子	豊田俊明	外尾美好	(高校32)
柳島初子	八頭司(遠藤)君枝	志鎌丞雄	並川(納富)悦子	持永(真子)正彦	宮島光繼	平石善憲
(高女25)	西(川俣)智子	瀧川晴一	西田(稗田)治子	久保(荒木)富子	本村武節	亀山(伊東)早苗
森(江副)良子	西山(許斐)清子	中元寺松三	(高校11)	中島(北村)要子	和田(卯野木)邦子	(高校33)
福地(副島)千鶴子	(高校5)	七島義人	井上通正	橋本澄子	川辺(円城寺)直子	米田(平野)陽子
高岸(吉谷)信子	池田庫久彦	南里幸太郎	白浜砂雄	村上(樋渡)瓊	寺崎(北川)操	(高校34)
(高女26)	犬山次雅正	野田浩智	野口武男	松尾(沼田)紀久江	山口(永末)佐登美	吉丸上
藤光(湖上)チサ子	川副富男	野乗富智美	真子輝信	(高校16)	諸岡(副島)美和子	合原(山口)由美子
大坪(村岡)小路生	坂村秀修	古川正美	溝口英幸	高木靖哉	原田(野口)京子	(高校37)
(高女27)	高木立石博	井手愛子	茂田(北島)道子	小林(前田)スミ子	橋間(兵動)真美	大場清
藤永(今泉)清子	青井(大久保)雅子	今泉クリエ	堤(田中)巡子	(高校17)	泉(水田)富子	(高校38)
七田(成田)美津枝	宮地(片桐)明子	大野(於保)富子	丸谷(田中丸)房子	池田好正隆	江里口直明	三宅(川浪)由利子
匿名小城市	岸川郁子	古賀(岸川)京子	森(手塚)紀美代	石井康光	北島和久	富増(中島)瑞恵
(本定4)	梶原(古賀)千尋	北島五十鈴	土井(真子)礼子	江島英二	田中政敏	(高校39)
光石(明石)節子	岸川(島内)芳子	石丸(小園)香奈子	内野(山本)俊子	高塚正彦	本村豊	香川弘行
(本定5)	石井(馬場)津智子	野田(辻)カズエ	(高校12)	土井正孝	山北(川内丸)郁子	(高校40)
瓦田信彦	松本(挽地)早苗	佐々木(徳永)祐里子	大島文雄	林田逸雄	江頭(黒岩)史子	荒川好子
(本定6)	藤井貞子	渡辺(中島)由美子	小島富義	本村清人	江頭朋彦	(高校41)
青木(森永)タツヨ	南里(古川)千枝子	金子(日出島)京子	成田武敏	山下拓勉	緒方和義	山崎(黒岩)史子
(本定9)	岸川(島内)芳子	坂本(福山)啓子	林義人	川副(宇高)久美子	金田昌博	松永貴司
今村健一	石井(馬場)津智子	沢田(古川)道代	樋渡和利	本村(高塚)慧子	永水(大谷)和子	(高校43)
(高校1)	松本(挽地)早苗	武田(桃崎)睦子	峰公雄	津村陽子	中原(南里)和子	古賀智彦
吉田英介	飯盛宏猷	森(高廣)江	深江(伊東)満子	太田(中村)和美	千葉(山本)寿雅子	濱渡宜弘
古賀(林)和子	江口英明	今泉茂太	佐久間(岩松)千代子	西村(中村)隆子	(高校23)	樋渡明宏
(高校2)	古賀弘毅	金丸忠人	徳村(梅崎)マス子	(高校18)	古賀通雄	大串(中島)里津子
大坪登彦	小柳新平	橋間啓昭	中村(江口)美沙子	大坪正明	水崎米吉	
於保好彦	佐久間澄生	山崎禎昭	岡崎知子	中丸素明	柴田(塚原)春美	
早田直正				橋間今朝夫	泊(西)去子	
竹中洋弘						
福山義弘						
[故]安川善二郎						
山田浅雄						

トピックス



第13回ゴルフコンペ

優勝

中山 健二氏!!

毎年恒例の第13回黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）が平成28年5月15日（日）大和不動カントリー倶楽部に於いて開催されました。総勢59名の参加があり中山健二氏の優勝で幕を閉じ無事終了することができました。また参加者からのチャリティー募金24,000円を、黄城会に贈らせていただきました。

なお上位入賞者の方々は右の表のとおりとなっております。開催にあたって準備等ご尽力いただいた方々誠にありがとうございました。

順位	卒業回数	氏名
優勝	40回	中山 健二
準優勝	37回	森永 和宏
3位	26回	千北 政利
4位	16回	江里口 勉
5位	38回	安藤 誠
6位	41回	柿本 将秀
7位	33回	中島 信哉
8位	19回	藤井 徳浩
9位	24回	池田 尚文
10位	34回	中島 光宏

お知らせ

平成28年度支部総会予定日

*平成28年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。（時間、会場等は各支部へお尋ねください）

支部名	予定日	氏名	電話
関東	H28 8/28(日)	支部長 檜崎 進	03-5397-7877
関西	H28 11/6(日)	事務局長 古賀 和良	072-224-4680
中京	H28 10/22(土)	事務局長 堤 淳	056-152-9252
関門・北九	H28 11/20(日)	事務局 山口 孝美	093-475-6487
福岡	H28 10/8(土)	幹事長 古賀 省吾	093-691-0755

支部名	予定日	氏名	電話
長崎	H29 1/29(日)	事務局長 大石 太	090-6774-1144
唐津	H29 2/5(日)	事務局長 鮎川 正博	090-4997-1372
佐賀	H28 10/23(日)	事務局長 岸川宗一郎	0952-72-7091
県庁	H28 10/7(金) 未定	幹事長 神代 芳男	0952-25-7221
多久	H29 2/12(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

『新校舎完成』

平成27年9月より3階建ての新校舎となり、素晴らしい教育環境が出来上がりました。



駐輪場



新校舎

黄城会総会を終えて

2016年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 樋渡 明宏 (高校43回)



黄城会総会はいよいよの空模様でしたが盛大に開催されました。総会当日、同級生に「当番はこれで終わりだから楽しくやろう。」と声をかけ臨みました。笑顔で出会う先輩方が印象的で中には「ありがとう。」と声をかけてくださる方もおられました。

スローガン 虹～思い出と未来を彩る黄城のかけはし～のもと私たちは心をつなげて努めさせていただきました。一般的に虹は「七色(なないろ)」と言われアーチをイメージする方が多いと思いますが、見る場所・見る時間・見る人によって七色(なないろ)ではなく違った色に見え、違った形の見えかたをします。同じ黄城の地で高校生活を過ごした私たち、先輩方、それに後輩のみなさんがそれ

ぞれに持つ思い出やそれぞれに抱く未来は虹のごとく様々な色や形(大きさ)をしていることでしょう。

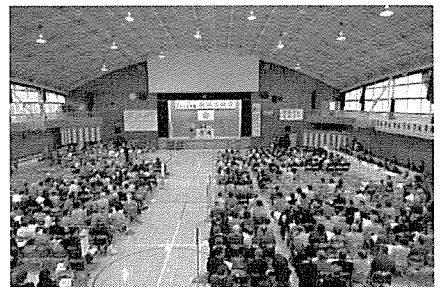
私たち43期生はもとより、黄城の学び舎で生まれた多くの卒業生の古き良き思い出と、今まさに黄城の学び舎で学ぶ生徒をはじめ、これから私たちの仲間となっていくであろう未来に集う黄城若人の輝かしい未来をつなぐかけはしとなるようにと願いも込めています。同級生と再会し一つのテーマに向かい合い築き上げたかけはしは決して壊れる事はないでしょう。また協力してくれた同級生に感謝していますし誇りに思います。

今年の総会は新しくなった小城高校の校舎も見られましたし饅頭会もゆめぷらっと小城へと移動しました。今までとは違い新鮮さも

感じられ私たちが境に少しずつ変わっていくのではと感じているところです。

総会及び饅頭会ではいくつかご迷惑をおかけした点もある事だと思えます。不愉快な思いをされた方へお詫びを申し上げます。

黄城会の伝統を守り44期生へと引き継ぎます。そして私たち43期生は黄城会が発展していくようにと貢献していきます。一歩でも前進をお約束します。



饅頭会を終えて

2017年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 淵上 史貴 (高校44回)



2年連続の雨模様となった5月3日の黄城会総会・饅頭会。私自身、地元小城出身の歌手としてアトラクションでどちらも出演させて頂いた事もあり、なんとなく雰囲気だけは把握していたのですが、今年からの饅頭会は新しく出来たばかりの「ゆめぷらっと小城」での開催となり、従来の小城公民館とは導線も手順もかなりの変更を余儀なくされました。

しかし、当初は集まってくれるかどうか不安だった同級生の仲間達もたくさん駆けつけてくれたお

かげで、どうにか乗り切る事が出来ました。お集まり頂いた多数の諸先輩方には、色々と至らぬ事ばかりだったにも拘らず、帰り際に「有難う!」「楽しかった!」など、温かいお言葉をかけて頂きました事、大変嬉しく思っております。感謝の気持ちを胸に、来年いよいよ本番となる黄城会総会を、さらに多くの仲間達と共に頑張る運営して行きたいと思っております。そして、先輩方から受け継いで来た良い流れを、次の45期生の皆さんにいかにかうまくバトンタッチ出来るかが、今後の運営にとって非

常に大事な事だと考えております。卒業25年目を迎え、諸先輩方・同級生の仲間達、そして45期の後輩の皆さんと、世代を超えた連携・交流が出来るのも黄城会の素晴らしいところです。万全の態勢を整えて、来年の5月3日、またたくさんの皆様にお会い出来る事を、心より楽しみにしております。



平成28年度黄城会役員一覧

▷会長=岩松要輔(高10回)▷副会長=七田義孝(高15回)川副春海(高26回)井手真喜子(高29回)▷顧問=藤井伸幸(校長)吉山耕一郎(教頭)▷理事=内野正久(高3回)永池安彦(高4回)川副富男(高5回)飯盛宏猷(高6回)佐々木昇三(高7回)大野雅央(高8回)真子輝雄(高11回)小柳平一郎(高12回)中尾久司(高13回)森永四郎(高

14回)梅崎茂弘(高16回)松尾剛之(高17回)野田和良(高18回)江口武(高19回)野田豊秋(高20回)高園勝男(高21回)坂井一弥(高22回)堤覚三(高23回)古賀正人(高24回)圓城寺猛(高25回)横尾俊彦(高27回)井手美保子(高28回)岡正幸(高30回)安永正(高31回)伊東猛彦(高32回)水田信(高33回)真崎俊夫(高34回)松尾直人(高35回)

西岡聖師(高36回)梶原聖司(高37回)北島清孝(高38回)北村武士(高39回)高塚誠(高40回)飯盛宏徳(高41回)野田一彦(高42回)▷監事=梶原千尋(高5回)金丸盛登(高9回)福田智恵子(高26回)▷事務局長=外尾美好(高20回)▷庶務=山崎史子(高41回)▷会計=大場知子(高37回)

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長=植崎進(高14)▷副支部長=本村清人(高17)▷幹事長=岸川昌子(高15)▷副幹事長=村上徹(高19)▷事務局長=川副隆之(高32)
[中京支部]▷支部長=久本哲義(高11)▷副支部長=庭木利秀(高7)川島公子(高11)梅谷雅和(高17)庶務=江里口多美雄(高21)▷事務局長=堤淳(高40)
[関西支部]▷支部長=新田安典(高22)▷副支部長=内橋昇(高25)岡本正史(高27)▷事務局長=古賀和良(高31)▷事務局次長=森山栄子(高31)

[関門・北九州支部]▷支部長=橋間啓人(高9)▷事務局=山口孝美(高29)
[長崎支部]▷支部長=古川正人(高8)▷事務局長=大石太(高10)
[福岡支部]▷支部長=岡本壽夫(高10)▷副支部長=山口順蔵(高18)堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)
[佐賀支部]▷支部長=江里口勉(高16)▷副支部長=梶原千尋(高5)安藤真行(高15)宮原史枝(高15)▷事務局長=岸川宗一郎(高20)

[唐津支部]▷支部長=白石元秀(高7)▷副支部長=永測明則(高16)▷事務局長=鮎川正博(高28)
[多久支部]▷支部長=吉浦啓一郎(高15)▷副支部長=尾形節子(高4)牛島和廣(高17)飯守康洋(高24)▷幹事長=内野正久(高3)▷事務局長=古賀通雄(高23)
[県庁支部]▷支部長=南里隆(高31)▷事務局長=神代芳男(高32)

平成27年4月～平成28年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)(32)松尾 政善[佐賀市](35)石井 良男[小城市](40)千々岩 三次[佐賀市](41)岸川 英利[小城市](41)黒岩 道雄[多久市](42)浜野 久馬夫[小城市](43)梅崎 定[唐津市](46)阿部 利行[福岡市](46)木原 逸夫[佐賀市](46)小林 育男[佐賀市](47)陣内 秀昂[新座市]
(高女)(10)田中丸タツ子[三鷹市](11)江頭 サワ[佐賀市](11)福井 フミ[佐賀市](14)牧野内 カメ子[多久市](15)江里口 サヨ[神埼郡](15)関川 千鶴子[杵島郡](16)江口 安子[多久市](16)南里 フサ[大田区](17)田代 ミツヨ[佐賀市](17)永松 正子[多久市](18)古賀 榮子[佐賀市](18)山田 文子[佐賀市](19)於保 静子[佐賀市](19)牟田 富子[佐世保市](20)飯盛 延子[佐賀市](20)南里 俊子[小城市](20)福島 常子[多久市](21)力武 悦美[佐賀市](24)中島 裕子[佐賀市](24)丸田 初子[多久市](24)森 末子[小城市](25)成富 スマ子[佐賀市](25)山田 愛子[多久市](27)大坪 恵子[我孫子市]
(高校)(1)犬塚 幸雄[佐賀市](1)片

桐 孝[多久市](2)香月 清[北九州市](2)辻 宏達[小城市](2)南里 齊[磯城郡](2)安川 善二郎[佐賀市](3)副田 洗一[三鷹市](3)中島 俊治[小城市](4)田中 和好[川崎市](4)増田 祐保[神戸市](4)森永 芳昭[佐賀市](4)吉田 雅則[町田市](4)市場 昭子[佐賀市](4)江越 須美子[豊中市](4)手柴 博子[福岡市](5)木崎 剛明[八尾市](5)古賀 正邦[北九州市](5)牟田 小夜子[鳥栖市](6)古賀 豪[多久市](6)島内 慶次郎[佐賀市](6)田島 富美子[杵島郡](6)塚本 直江[福岡市](6)野中 清子[佐賀市](6)洲上 芳子[多久市](7)小久保 善右[福岡市](7)永瀬 敏幸[江戸川区](7)兵働 文雄[小城市](7)増田 一雄[小城市](7)真子 治昭[小城市](8)伊東 善宣[小城市](8)於保 重利[小城市](8)斉藤 浩二[名古屋市](8)田中 重子[多久市](8)鶴 義枝[佐賀市](8)西村 美和子[杉並区](9)早水 日秀[鎌倉市](10)伊東 伊佐雄[横浜市](10)八頭司 義久[八尾市](11)古川 俊博[都城市](11)梅野 チエ子[佐賀

市](13)相原 正光[小城市](13)牧瀬 武男[小城市](13)石川 由起子[朝倉郡](14)吉次 隆義[多久市](15)池田 吉兵[筑紫野市](15)生部 邦治[小城市](15)大坪 桂子[東大和市](15)田崎 節子[佐賀市](16)野田 豊[春日市](16)藤山 照友[佐賀市](17)徳永 トミエ[多久市](18)曲測 安彦[多久市](19)永松 輝信[小城市](20)圓城寺 重憲[佐賀市](20)古賀 洋一[小城市](20)飯村 真弓[木更津市](22)馬場 和之[小城市](26)野田 吉人[小城市](27)山崎 薫(29)堤 雅彦[小城市](29)森永 一行[福岡市](33)田測 和幸[佐賀市](34)中 智子[所沢市](36)満身 信[小城市](37)坂井 洋治[小城市](54)馬場 大輔[小城市]
(定時)(本定4)峯 常子[多久市](牛定2)古賀 勝次[小城市](牛定7)井上 信之[小城市]

寄付金・寄贈

(平成27年4月～平成28年3月)

寄付金 木崎晃子様(故 木崎剛明 元関西支部長の奥様) 20,000円/高校17回一同様(卒業50周年) 20,000円
高校40回一同様 2,300円

寄贈図書 旧中38回 橋間 他家男様 『未明の地平線』

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

黄城会の会費納入及び会員寄付金について、下記によりご協力賜りますようご案内申し上げます。
 会費につきましては、1年会費(2,000円)の取り扱いのみではありますが、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行(郵便局)』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしましたので、お一人でも多くの皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費納入につきましては、機会あるごとをお願いしておりますが、なかなか納付が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりますので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただくことにしております。なにとぞご理解のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

近年の納入者の減少で、黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、会費納入及び会員寄付金について会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入の案内が届きましたらご寛恕ください。

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入者、5年会費納入者の5年未経過者、今年度会費の納入者及び熊本地震の被災地域にお住まいの方を除く。	※今年度寄付金の納入者及び熊本地震の被災地域にお住まいの方を除く。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円 ②会費の振込金融機関 1年会費(2千円)は、最寄りの『ゆうちょ銀行(郵便局)又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費(1万円)又は終身会費(5万円)を振り込んでいただけるときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会で負担しますので、会費のみを払い込んでください。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み(口座振替)』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ②ご寄付いただいた方については、その都度お礼状をお届けするとともに、当該年度分の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載させていただき、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担しますので、会員寄付金のみを払い込んでください。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会費】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人数	1,400人	1,336人	1,256人	1,247人	1,296人
金額	5,171,000円	4,769,000円	4,202,000円	4,500,000円	3,580,000円

【会員寄付金】

	平成27年度
人数	364人
金額	2,879,000円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更(改姓を含む)されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行(郵便局)』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金を振り込まれる方(ゆうちょ銀行(郵便局)に限ります)も同様をお願いします。

編集後記

今年も高校総体が始まる時期になりました。放課後、校内から懐かしい歌が聞こえてきました。小城高の応援歌『黄城原頭草みどり〜♪』校歌と同じくなんとなく記憶に残っているので、つい口ずさんでしまいます。小城高みんなで総体を応援して出場生徒の頑張りに期待したいですね。また、普段、新聞のスポーツ欄はあまり見ないのですが、小城高の生徒達のがんばりが気になりじっくり目を通してしまいます。今年もがんばって成績を残してくれたようです。(大場)